

一九九七年二月二十五日
発行刷



第81卷 第1号 史学・地理学・考古学

論 説

- 三角縁神獸鏡の鑄造法と同範鏡……………小 野 山 節 (1)
天皇の死の歴史的位置……………堀 裕 (38)
——「如在之儀」を中心に——

研究ノート

- 柳田民俗学における「郷土」とマルクス主義者……………鶴 見 太 郎 (70)
——一九四二年夏、福本和夫の故郷再訪——

史料紹介

- 中国第一歴史檔案館所蔵の『順天府檔案』について……………小 田 則 子 (85)

書 評

- 南基鶴著『蒙古襲来と鎌倉幕府』……………村 井 章 介 (103)
泰郁彦著『虚溝橋事件の研究』……………江 口 圭 一 (111)
玉置さよ子著『西ゴート王国の君主と法』……………佐 藤 彰 一 (119)

紹 介

- 小島道裕著『城と城下一近江戦国誌一』(野田泰三)……………(123)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

曹史の墓中から出土したことを考えるならば、彼は自宅で執務していたかのごとき感さえする程である。この一群の簡牘は、漢代地方行政制度研究の第一級の資料であり、研究に格段の進展をもたらすことは言うまでもないが、同時に今次の発見は簡牘研究者の通念を覆す発見であることにも注意しなければならぬ。それは最初にも述べたように、内郡の墓中から出土する簡牘は遺策か書籍であるというのが大方の見解であり、墓中からはこの種のような行政文書は出土する筈がないと考えられてきたからである。尹湾漢墓の場合、墓中から発見されている点、それが本文書とは言い難く、本文書の控えか下書きと考えるべきであろうが、内容はまぎれもなく行政文書である。何故この種の行政文書が墓中から出土したかは今後の検討に待たねばならないが、この事実は今後とも墓中から行政文書が出土する可能性を暗示するものとして重要である。

受贈図書

(一九九七年七月七日)

一九九七年一月二九日)

一橋論叢(一橋大学一橋学会) 一一八—
 一六・一一九—
 大和(大神神社社務所) 九三・九四
 神戸大学史学年報(神戸大学史学研究会)
 一一
 人文論叢(福岡大学総合研究所) 二九—
 一・二
 News Letter(日本人類学会) 3
 立命館大学(立命館大学人文学会) 五五
 ○・五五—
 一橋研究(一橋大学大学院一橋研究論集委員
 員会) 二二—二二
 法学志林(法政大学法学志林協会) 九四
 一三・四
 総合研究所報人文社会科学編(福岡大学総合
 研究所) 一二七—一三〇
 日本文化研究所紀要(亜細亜大学日本文化
 研究所) 三
 人文地理(人文地理学会) 四九—三—五
 奈良国立文化財研究所年報(奈良国立文化
 財研究所) 一九九六

官営工房研究会会報(奈良国立文化財研究
 所) 一九九六
 平城宮発掘調査出土木簡概報(奈良国立文
 化財研究所) 三三—三三
 第三届中国唐代文化學術研討會論文集(中
 国唐代学会) 一九九七年六月
 小針遺跡(岡崎市教育委員会) 一九九七
 Harvard Journal of Asiatic Studies
 (Harvard-Yenching Institute) 57—
 一
 西伯(西伯社) 二・三
 社会科学論叢(長崎大学教育学部) 五四
 研究紀要(愛媛県歴史文化博物館) 二
 富士論叢(富士短期大学学術研究会) 四
 二—
 海南史学(高知海南史学会) 三五
 帝京史学(帝京大学文学部史学科) 一二
 アジア研究所所報(亜細亜大学アジア研究
 所) 八七・八八
 史料(皇學館大学史料編纂所) 一四七—
 一四九
 研究紀要(大分県立宇佐風土記の丘歴史民
 俗資料館) 九
 歴史民俗資料館ニュース(大分県立宇佐風
 土記の丘歴史民俗資料館) 四四

歴史研究（大阪教育大学歴史学研究室）

三四

日本学士院紀要（日本学士院） 五一―三

鹿児島経大論集（鹿児島経済大学経済学部

学会） 三八―一・二

立命館産業社会論集（立命館大学産業社会

学会） 三三―一

韓国史研究彙報（国史編纂委員会） 九

七・九八

東アジア研究（大阪経済法科大学アジア研

究所） 一七

東方学会報（東方学会） 七二・七三

新潟県立文書館年報（新潟県立文書館）

五

釜大史学（釜山大学校史学会） 二二

龍谷大学論集（龍谷学会） 四五〇

神道史研究（神道史学会） 四五―三・四

経済論究（九州大学大学院経済学会） 九

八

歴史研究（大阪府立大学） 三五

考古学報（中国社会科学院考古研究所）

二・三

歴史学報（国立成功大学歴史学系） 二二

史学（国立成功大学歴史学系） 二二三

史観（早稲田大学史学会） 一三七

桃山歴史・地理（京都教育大学史学会）

三二

アジアフォーラム（大阪経済法科大学）

一五

ЭКОНОМИЧЕСКОЕ ОБОЗРЕНИЕ

(НАУКА) 2-3

ВЕСТНИК АРХИВКОПИИ

(НАУКА) 2

歴史教育論集（歴史教育学会） 二

はこだて（函館市） 二二六

史料館報（史料館） 六七

学術研究（早稲田大学教育学部） 四五

経営経済論集（九州国際大学経済学会）

三一―二

文学論叢（愛知大学文学会） 一一五

福島県立博物館紀要（福島県立博物館）

一一

史友（青山学院大学史学会） 二九

経済学論集（龍谷大学経済学会） 三七―一

海事史研究（日本海事史学会） 五四

日本研究（国際日本文化研究センター）

一六

研究紀要（尾道短期大学） 四六―二

特別展齋王と中世王権（齋宮歴史博物館）

編集後記

小野山論説の掲載が、はからずも、黒塚遺跡での大量の三角縁神獣鏡の出土と重なりました。新聞報道が気になってしかたがないこのころです。

本号はやや薄目の冊子となりましたが、内容豊かな著述を集めることができました。どうぞご味読ください。また、活発なご投稿をお願いいたします。（奈）

本誌には文部省科学研究費補助金研究成果公開促進費が交付されております。

一九九七年二月二五日印刷 定価二二〇〇円
一九九八年一月一日発行 送料六〇円

史林 第八一卷第一号（通巻第四〇七号）

発行人 史学研究会

京都府左京区吉田本町
京都大学文学部内
振替京部〇二〇七〇二二五一五五番
理事長 間野英二

印刷所 中村印刷株式会社
京都市南区上高野藤田元

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXXXI No. 1

January 1998

CONTENTS

Articles :

- ONOYAMA Tkashi : Moulds for Large Bronze Mirrors with Triangular-in-section Rims 三角縁神獸鏡, Are They Two-piece or Five-piece?..... (1)
- HORI Yutaka : Emergence of the Undying Tenno in the Heian Period..... (38)

Note :

- TURUMI Taro : Fukumoto Kazuo's Fieldwork in Summer 1942..... (70)
—A Marxist Revisits his Hometown—

Material :

- ODA Noriko : An Introduction to Shun-t' ien-fu 順天府 Archives held in the First Historical Archivers of China (85)

Book Reviews :

- MURAI Shosuke : NAM Kihaku "Mongol Invasion and Kamakura Bakufu" (103)
- EGUCHI Keiichi : HATA Ikuhiko "The Marco Polo Bridge Incident and the Coming of the War" (111)
- SATO Shoichi : TAMAKI Sayoko "Kings and Law in the Visigothic Kingdom" (119)

Miscellaneous:

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386-9369